



あなたはひとりじゃない

児童養護施設 夕陽ヶ丘 施設長補佐
ひだ子ども家庭支援センターばすてる センター長
中沢 泰

その時間が長かったにせよ、短かったにせよ、あなたが施設で生活してきたことは予期せぬこと、そして望まなかったことだったと思います。

「早く自由な暮らしがしたい!」、逆に「一人暮らしなんてまだ無理、できない!」など、いろいろな気持ちを抱いていることと思いますが、それはこれまでの施設での生活の積み重ねの結果なのかもしれません。

私たち施設職員は、あなたが社会で生活しているだけの準備のお手伝いをして、「あとは頑張っ」と言いながら見送ります。

そして、私たちが思い描いているような生活…しっかりと仕事を続け、貯金をして、地道でも堅実な生活…を送ってくれることを心から望んでいます。

でも実際は、私たちがやってきた準備はまだ不十分で、あなたが社会で生活を送るなかで多くの困難に出会うことも予想をしています。

だから、退園の時には「困った時はいつでも連絡しておいで!」と言葉を添えますが、「困った時」の連絡ほどしづらいものはありません。

たった一人で問題を抱えて、何とかしようと悪戦苦闘する、でも状況はますます悪化してどうにもならない! なんてこともあるかもしれません。

大切なのは、困った時に誰かに話をすることです。

できれば、信頼できる大人に。

私たちはその大人の一員であるつもりですが、残念ながらあなたはそうは思ってくれないかもしれない。

職員に話してもどうにもならないと思うかもしれない。

でも、それは自然な感情で、その原因は私たちにもあります。

また、相談をしてくれたとしても、力が及ばないこともあります。そして「孤独感」がますますあなたを襲うことになるでしょう。

そんな時、これからは“ROOKIES”があなたの支えになってくれるはずです。

これまで施設職員には話せなかったこと、話しづらかったこともきっと聞いてくれるはずです。

あなたが信頼できる大人は、必ず現れます。

あなたが抱えるであろう困難はあなたの責任だけではありません。

どうか、「わたしは一人じゃない」ことを心の片隅に置いて、これからの暮らしを送ってください。